

令和5年度 課長方針 検証

部課	水道部 業務課	課長	尾上 聡
----	---------	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・蕨市水道ビジョンに基づき、行動計画を積極的に推進する。 ・担当業務以外の知識についても習得を進め、自己研鑽を図るとともに業務全般についての認知を深め、配置転換、支援等に対しても滞りなく対応できるよう備える。 ・公営企業に従事する職員として、常に効率的かつ効果的な水道事業の遂行を意識して職務にあたる。 ・常に用務の改善を心がけ、原理原則に基づき効率化を推進する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和5年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
水道事業経営	経営理念に基づき事業を管理・遂行するとともに、健全経営を推進し、お客様から信頼される水道事業を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ・経常収支比率100%以上を維持する。 ・有収率96%以上を維持する。 ・企業債残高対給水収益比率を260%以下を維持する。 	○	経常収支比率 103.1% 有収率 95.94% 企業債残高対給水収益比率 229.5%(減免後) ※コロナ・物価高騰対策に係る基本料金免除を実施しなかった場合の企業債残高対給水収益比率は、198.2%
財務管理	会計処理事務を適切に執行する。	支出負担行為書の確認及び支出伝票を法令等に基づく内容審査を徹底するとともに、説明責任を果たすため、精緻かつ正確な審査業務を継続する。	◎	水道利用者の信頼を裏切らない、精緻かつ正確な審査業務を進め、適切な会計処理業務を実施することができた。
情報システムの管理	企業会計システム及び水道料金システムを適切に運用する。	機器及びシステムの維持管理を確実に実施し、情報管理の安全性を担保する。	◎	年度途中にインボイス制度が始まったが、両システム共に問題なく対応できた。概ね支障なく、安定した運用を実施でき、情報管理の徹底を図った。

令和5年度 課長方針 検証

部課	水道部 維持管理課	課長	鈴木 昭弘
----	-----------	----	-------

課の運営方針
<p>○課員全員が、水道事業が市民生活や事業活動、都市機能を維持するための基盤施設として、社会経済活動全般にわたって不可欠なものであるだけでなく、多様かつ高度な機能が求められていることを常に意識して業務を遂行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心、安全で清浄な水道水を安定的に供給するため、計画事業の実施に万全を期す。 ・「水道事業ビジョン」をはじめとする各種計画を着実に進める。 ・大規模災害発生時等における水の確保や早期復旧に備え、然るべき準備を進める。 ・課内の意思疎通を密にし、問題に対する改善意識、協力意識を常に高め合う。 ・業務に関し必要となる新たな知識や技術の習得に励み、各自が自己啓発を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和5年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
取水・浄水・配水設備の適切な維持管理・更新	中央・塚越両浄水場及び取水井における各種設備の適切な維持管理と計画的な更新工事の実施 ・両浄水場における配水ポンプのオーバーホール ・塚越浄水場着水井送水ポンプおよび配水ポンプ盤・中継端子盤の更新など	水道使用者に対し、いつでも安定的に配水を継続するためには、常に設備の健全性を維持しておく必要がある。 そのため、計画的な設備点検及び更新工事を着実に遂行するとともに、必要に応じた修繕・長寿命化措置を適切に実施する。	○	・「配水設備」については、中央・塚越両浄水場の配水ポンプ各2台ずつのオーバーホールを計画どおり完了させ、機能の維持・強化を図った。 ・塚越ポンプ場の配水ポンプ盤・中継端子盤や、「取水設備」のうち塚越浄水場着水井送水ポンプの更新工事については、令和5年度に工事に着手しているが、材料の調達納期に長期間要することから事業時期を見直し、工事完了を令和6年度に変更している。

<p>水道管路の適切な維持管理・更新</p>	<p>中央・塚越両浄水場から各戸の給水装置まで延びる配水管の適切な維持管理と計画的な更新工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水管等の漏水調査 ・基幹管路および重要施設配水管路の更新・耐震化など 	<p>平時における水道水の安定供給をより堅実に実施し、また、大規模地震時においても水道管路の被害を最小限に抑え、迅速な復旧を可能とするためには、常に管路の健全性を維持しておく必要がある。</p> <p>そのため、水道管路のうち、極めて重要度の高い「基幹管路」「重要施設配水管路」について、管路更新計画に基づき、着実に更新・耐震化工事を進めるとともに、地下漏水の早期発見や道路陥没等による2次災害を未然に防止するため、計画的な漏水調査を実施する。</p>	<p>○ 「基幹管路」及び「重要施設配水管路」については、概ね計画どおり更新及び耐震化工事を進めることができた。一部路線について、令和5年度に工事に着手しているが、前年度の繰越工事との兼ね合いや当該工事の設計変更に伴う事業時期の見直しを行い、工事完了を令和6年度に変更している。令和5年度末の耐震適合率はそれぞれ99.4%、92.7%となり、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの目標値である98%、92%以上を達成した。また、漏水調査も計画どおり実施し、発見された漏水への措置もすべて完了させた。</p>
<p>鉛製給水管解消促進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私有財産である鉛製給水管の取替を促し、早期解消への誘導を図る。 ・鉛製給水管取替工事助成制度の利用推奨による取替促進 	<p>水道水の安全性と老朽給水管の健全性を確保すべく、現在の解消ペースを維持できるよう、鉛製給水管取替工事助成金制度についての対象者への情報提供や鉛製給水管の使用による影響等についての注意喚起を継続して実施し、残存箇所数を減少させる。</p>	<p>◎ 鉛製給水管解消促進のため、令和4年度までであった助成金増額期間を3年間延長した。案内方法については、対象者への通知文書発送やホームページ・広報紙等による事業周知のほか、新たに町会掲示板への掲示や回覧を町会へ依頼するなど、改善を図った。解消数は昨年より減少したものの、残存数の減少は着実に進んだ。</p>